

弁理士

---

年内にインプット終了！  
その強みと合格へのスケジュール！  
【佐藤 卓也 LEC専任講師】

---

れっく **LEC** 東京リーガルマインド



0 001321 240113

MU24011



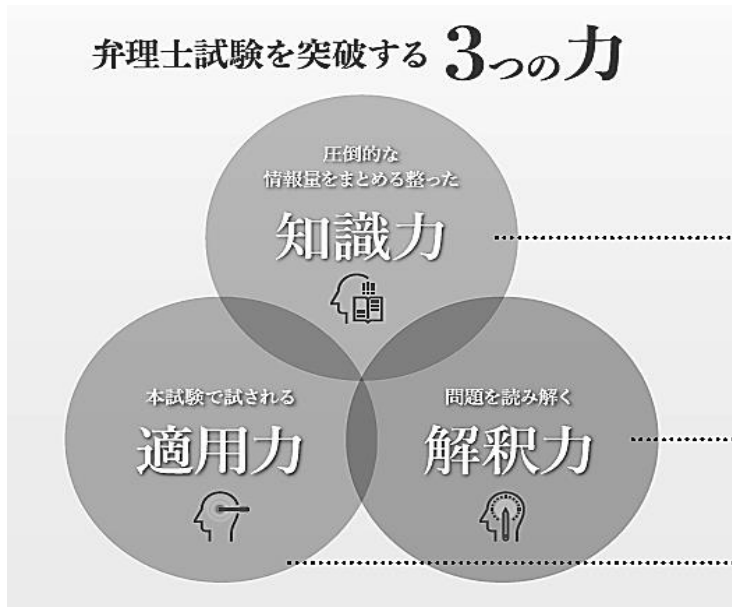
## 『年内にインプット終了！

## その強みと合格へのスケジュール！』

### 1 平均的に必要な学習量と勉強量

- (1) 3～4年が平均
- (2) 3000時間程度
  - ① 但し、**短答試験合格**までは1000時間あればいける可能性
  - ② 高得点をたたき出す

### 2 そのために必要なことは何（3つの視点）



### 3 知識力

完全に解答できる力（短答講座の幅）をしっかりとつける

- (1) 条文の幅を知る（2回転：短答講座（基礎＋短答プロパー））
- (2) 10年分の問題集をやる？
  - ◆ 通常は60問×5枝×10年分 → 3000枝を何度も
  - ◆ **しかし基本枝は500枝程度** → これをしっかりと理解する
- (3) テキストの功罪
  - ◆ 何が短答学習用テキストとして定番なのか？
  - ◆ 青本＋条文＋過去問といわれてきた（それは正しい）

## 2 ● 年内にインプット終了！その強みと合格へのスケジュール！

(5) 但し、これを3つに分散させると3倍知識習得には時間がかかる

◆ 20年前に作成したのが短答アドバンス

(6) 短答アドバンステキストの功罪

◆ 全情報が網羅（今では青本と同じようになってしまった）

◆ 条文の改正（どういう条文か理解が出来ない）

◆ 条文の長文化（読み難い）

◆ 基本問題の長文化（新作が貴本問題ではない）

(7) 短答アドバンスを基盤に講義すると

◆ 終わらない（昔400頁が現在600頁）

◆ 飛ばす事項はない（短答の範囲は全て）

(8) 新レジュメ

◆ クレスト（入門講座用：論文と短答の共通事項）

・短答問題を解析して記載（イメージがないと理解不可：過去問なし）

・最低限の幅（6割程度から、未知の幅も想起できる）

・趣旨＋一般法的な思考からのアプローチ

◆ クレスト（短答講座用）

・簡単に回せる

・基本問題とは何（全範囲を素早く回す）

・10年分の問題は不要かも（ほぼ同じような箇所を問うている）

## 4 解釈力

(1) 1つから、2～5つ解答できる力を付ける

(2) 応答しながらでない上記の力があるか否かの判断は難しい（ここに講義の難点）

(3) 素早く読み解く力（読解力は必須）

① 1時間で長文が出題（但し試験委員の先生は1時間で解ける問題を作問）

② 短答と同じ（但し勉強の幅が非常に広い）

## 5 適用力

(1) 本試験と答練の違い

(2) 少し違うように問うてくる（この違いに気が付くか）

→ 100名台

→ 問題が新作に変化（予備校では作問が出来ない）

6 では具体的にどう勉強するか

- (1) テキストは配布用+過去問だけ
- (2) 論文は？（問題文の読み方）
  - ◆ 1行対策用レジュメ（25～30年前の試験の対応用）
  - ◆ 全て細かくやる必要はない
  - ◆ 問題文を如何に早く読めるか
- (3) 記載は答案の最低限8割は必要
  - ◆ 一時は簡単に書いたレジュメが多く合格していた
  - ◆ 問題視
  - ◆ 考えて解答する



4 ● 年内にインプット終了！その強みと合格へのスケジュール！

1. 入門エッセンシャル

全科目を素早く回す

2. 入門コンプリート

単元別、短答・論文の知識インプット（論文解答の知識まではここでつけよう）

3. 論文ワイド

論文を如何に読むのか

4. 短答ワイド

短答は完璧に行う（論文知識量＋3割は必要）

- (1) かなり細かい
- (2) 民法や民訴の特則部分（これは前提を理解しないと解けない）
- (3) この講義は回数が必須



れっく **LEC** 東京リーガルマインド

著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2023 TOKYO LEGAL MIND K. K. , Printed in Japan

無断複製・無断転載等を禁じます。

MU24011